



PLUMTREE PUBLISHER 6.2

クイックスタート インストール ガイド

Plumtree Publisher 6.2

2005 年 12 月改訂

この資料の内容は断り無く変更する場合がありますのでご了承ください。Plumtree Software, Inc. は、このマニュアルに関連する事項 (このマニュアルに記述されているソフトウェアの商品価値や特定の使用目的に対する責任などを含むがこれに限定されない) について、明示または黙示にかかわらずいかなる保証も行いません。このマニュアルにおける誤りまたはこのマニュアルの提供、有用性、利用等に関連または起因する損害について、Plumtree Software, Inc. はいかなる責任も負いません。

Copyright © 2005 Plumtree Software, Inc. All rights reserved. Plumtree、Plumtree のロゴ、Plumtree Publisher、およびその他すべてのプラムツリーの製品名およびスローガンは、Plumtree Software, Inc. または米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の製品名やスローガンは、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

未出版 : 米国の著作権法の下で著作権が保護されています。著作権情報は、著作権侵害の予防手段として記載しているものであり、出版または公開を暗示するものではありません。

このソフトウェアには、プラムツリー ソフトウェアの秘密情報およびトレード シークレットが含まれています。このマニュアルの使用、公開、または複製は、プラムツリー ソフトウェアの事前の明示的な書面による許可が無い限り禁止します。

このライセンス ソフトウェアおよびマニュアルは、FAR Section 12.212 および DFARS Section 227.7202 で規定されている「commercial computer software (商用コンピュータ ソフトウェア)」、および「commercial computer software documentation (商用コンピュータ ソフトウェア マニュアル)」とみなされます。

ライセンス情報の詳細については、製品リリース パッケージのアトリビューション ファイルを参照してください。

本書に関してご意見がある場合は電子メールを次のアドレスに送付してください : documentation@plumtree.com

目次

1. はじめに.....	1
2. 初回インストールの計画	2
ハードウェアおよびソフトウェアの要件	2
3. クイックスタート インストール	3
手順 1 : インストールの準備	3
手順 2 : Publisher インストーラの実行.....	4
手順 3 : マシンの再起動.....	7
手順 4 : スキーマ ユーザーおよびスキーマ テーブルの作成	7
手順 5 : publisher.pte 移行パッケージのインポート	8
手順 6 : Publisher の起動.....	8
手順 7: Published_Content_Portlets 移行パッケージのインポート	9

1. はじめに

Windows、UNIX、Linux への Publisher のインストール

このガイドでは、Plumtree Publisher 6.2 をすばやくインストールする手順について説明します。以前のバージョンの Publisher からアップグレードする場合は、『Quick Start Upgrade Guide』を参照してください。このガイドに加え、以下のマニュアルが提供されています。

- Plumtree Publisher 管理者用ガイド
- Plumtree Publisher Templating Language Specification
- Plumtree Publisher インストールおよびアップグレード ガイド

2. 初回インストールの計画

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

Plumtree Publisher に必要なハードウェア、オペレーティング システムおよびソフトウェアの条件を以下の表にまとめます。

重要: IPv6 はサポートされていません。この製品をインストールする前に、IPv6 が無効になっていることを確認してください。

コンポーネント	要件
Publisher ホスト コンピュータ	ハードウェア <ul style="list-style-type: none">デュアル 1.8GHz 以上、L2 キャッシュ 2MBメモリ 1GBディスク容量 40GB オペレーティング システム <ul style="list-style-type: none">Windows 2003 Server SP1x86 搭載の Red Hat Enterprise Linux 3 Update 3 (ES および AS)x86 搭載の SUSE Linux 9POWER3、POWER4、POWER6 搭載の AIX 5.3SPARC 搭載の Solaris 8 および 9
データベース サーバー ホスト コンピュータ	ソフトウェア <ul style="list-style-type: none">Microsoft SQL Server 2000 SP3a (Publisher を Windows にインストールする場合のみ)Oracle 9i (デフォルト) または Oracle RAC 設定Oracle 10g (デフォルト) または Oracle RAC 設定
対応ポータル バージョン	このリリースの Plumtree Publisher は、Plumtree Foundation 6.0 との互換性があります。サポートされているバージョンの最新のリストについては、Support Center の Interoperability ページを参照してください。

3. クイックスタート インストール

この節では、必要となるすべての Plumtree Publisher コンポーネントをインストールする方法について説明します。インストールするコンポーネントは以下のとおりです。

- Publisher データベースおよびワークフロー データベース
- Publisher
- ワークフロー サービス
- Image Server ファイル

以下の手順では、単一のマシンにすべてのファイルを導入する方法を示します。Publisher とワークフローは自動的に同じマシンにインストールされます。これらを個別にインストールすることはできません。Publisher とワークフローをインストールするマシンと、Image Service をインストールするマシンを別にする場合は、随時記述を読み替えてください。

手順 1: インストールの準備

ここでは、以下を前提としています。

- インストーラのすべてのコンポーネントは、同じコンピュータ上で実行される。Image Service を Publisher ホストと別にする場合は、その Image Service ホストでインストーラを実行して Image Service ファイルをインストールする必要があります。
- すべてのホスト名および URL には、完全修飾ドメイン名が使用されている。

Plumtree Foundation 6.0 のインストールでは、導入するデータベース (Oracle または MS SQL Server) およびポータル コンポーネントの設定情報 (Image Service、検索サービス、ドキュメント リポジトリ サービスの場所など) を指定したはずですが、以下の設定項目は、**すでに完了した Plumtree Foundation 6.0 のインストールに基づいて**記入してください。

表 1: 6.0 インストールの設定情報

項目	設定値
Oracle の場合	
Oracle サーバーのホスト	例: dbhost.mycompany.com
Oracle サーバーのポート	例: 1521
データベース マシンの ORACLE_HOME	例: /opt/plumtree
ORACLE_SID	例: PLUM
ポータル データベースのスキーマ ユーザー名とパスワード	例: plumbuser / plumtree
SQL Server の場合:	
SQL サーバー データベースのホスト	例: dbhost.mycompany.com

SQL サーバー データベースのポート	例 : 1433
ポータル データベースのデータベース名	例 : plumdb
ポータル データベースのデータベース ユーザー名とパスワード	例 : plumbduser / plumtree
イメージ サーバーの URL	例 : http://dev01.mycorp.com/imageserver (Windows) /opt/plumtree/ptimages (Linux)
検索サービスを実行するホストとポート	例 : searchhost.mycompany.com、ポート 15244
ドキュメント リポジトリ サービスを実行するホストとポート	例 : doc-repository.mycompany.com、ポート 8020

次に、Publisher およびワークフロー サービスのデータベース設定情報を決定する必要があります。これら 2 つには、個別のデータベースが必要になります。

表 2: Publisher の設定情報

項目	設定値 (Oracle)	設定値 (SQL Server)
Publisher データベースの名前	例 : ptcldb	例 : ptcldb
ワークフロー サービス データベースの名前	例 : workflowdb	例 : workflowdb
Publisher およびワークフロー サービスに常時使用するポート	例 : 7087	例 : 7087

手順 2 : Publisher インストーラの実行

1. インストール先のマシンにローカル管理者としてログインします。
2. お使いの OS 用のディストリビューションからインストーラを実行します。
Windows: PlumtreePublisher_v6-2.exe
Linux および UNIX: PlumtreePublisher_v6-2
注意 : 以下の各項目番号は、インストーラのページ番号に対応しています。また、「手順 1 : インストールの準備」で示した設定データの例が妥当な場合は、以下の手順説明においてもその値を入力例として使用しています。特別な指示がない限り、各手順項目の最後に [次へ] をクリックしてください。
3. [Introduction] ページで [次へ] をクリックします。
4. [License Agreement] ページで、ライセンス契約に合意します。

5. [Choose Components] ページで、[Publisher] または [Image Service files] を選択します。
カスタム インストールでは、Publisher と Image Service ファイルを別々に導入できます。
6. 完全設定を選択します。
注意：「発行済みコンテンツ設定」は、発行済みコンテンツに冗長性を持たせるために特別に設計された高度なオプションです。このオプションを使用するかどうかは、完全設定のインストールが正常に完了した後に検討してください。発行済みコンテンツ設定の詳細については、『Plumtree Publisher インストールおよびアップグレードガイド』を参照してください。
7. [Installation Folder] ページで、Publisher をインストールする場所を指定するか、デフォルトのインストール先をそのまま使用します。
例：
Windows: C:\Program Files\Plumtree
Linux and UNIX: /opt/plumtree
8. [Application Host and Port] ページで、Publisher およびワークフローのウェブ コンポーネントが要求を処理するのに使用する完全修飾ドメイン名およびポート番号を指定します。
ホストの例 : contentserver.mycompany.com
デフォルト ポート : 7087
http/https: http
9. [Publisher Database] ページで、ポータルが SQL Server と Oracle のどちらを使用しているかを指定します。
注意：このページは、Linux および UNIX では表示されません。
10. [Publisher Database Connection Information] ページで、データベースとユーザーの接続情報を指定します。
例 : SQL Server

[Content Database Computer]	contentserverdb.mycompany.com
[Content Database Port]	1433
[Content Database Name]	ptcsdb
[Content Database Login]	ptcsdbuser
[Content Database Password]	plumtree

例 : Oracle

[Content Database Computer]	contentserverdb.mycompany.com
[Content Database Port]	1521
[Content Database Service Name]	PLUM
[Content Database Name]	ptcsdb
[Content Database Login]	ptcsdbuser
[Content Database Password]	plumtree
11. [Workflow Service Database] ページで、ポータルが SQL Server と Oracle のどちらを使用しているかを指定します。
注意：このページは、Linux および UNIX では表示されません。
12. [Workflow Service Database Connection Information] ページで、ワークフロー サービスの接続情報を指定します。
例 : SQL Server

[Workflow Database Computer]	contentserverwfdb.mycompany.com
[Workflow Database Port]	1433
[Workflow Database Name]	workflowdb
[Workflow Database Login]	ptwfdbuser
[Workflow Database Password]	plumtree

例 : Oracle

[Workflow Database Computer]	contentserverwfdb.mycompany.com
------------------------------	---------------------------------

[Workflow Database Port]	1521
[Workflow Database Service Name]	PLUM
[Workflow Database Name]	workflowdb
[Workflow Database Login]	ptwfdbuser
[Workflow Database Password]	plumtree

13. [Portal Server Database] ページで、ポータルが SQL Server と Oracle のどちらを使用しているかを指定します。

注意：このページは、Linux および UNIX では表示されません。

14. [Portal Database Connection Information] ページで、Portal 5.0.x の設定情報に基づいて、Oracle または SQL Server データベースへの接続情報を指定します。

例 : SQL Server

[Portal Database Computer]	contentserverpdb.mycompany.com
[Portal Database Port]	1433
[Portal Database Name]	plumdb
[Portal Database Login]	plumdbuser
[Portal Database Password]	plumtree

例 : Oracle

[Portal Database Host]	contentserverpdb.mycompany.com
[Portal Database Port]	1521
[Portal Database Name]	plumdb
[Portal Database Login]	plumdbuser
[Portal Database Password]	plumtree

15. Image Service の情報を入力します。このホストに Image Service をインストールしないことを選択した場合、このページは表示されません。

Windows: C:\Program files\plumtree\ptimages

Linux および UNIX: /opt/plumtree/ptimages

注意：「plumtree」は Linux および UNIX でのデフォルトです。「ptimages」は、Image Service の場所です。

16. 発行済みコンテンツの URL とフォルダを選択します。[Use Defaults] を選択した場合、発行済みコンテンツの URL とフォルダは以下のように設定されます。

発行済みコンテンツの URL: `http://<computer_name>:<port>/publishedcontent`

Windows の発行済みコンテンツのフォルダ : C:\Program files\plumtree\ptcs\publishedcontent

Linux および UNIX の発行済みコンテンツのフォルダ :
/opt/plumtree/ptcs/publishedcontent

17. 前のページ (手順 16) で [Use Custom Configuration] オプションを選択した場合は、このページで発行済みコンテンツの URL とフォルダを指定します。それ以外の場合は、このページは表示されません。

18. ポータル ドキュメント リポジトリ サービスの完全修飾ドメイン名およびポート番号を指定します。

ホストの例 : doc-repository.mycompany.com

デフォルト ポート : 8020

19. 検索サービスの完全修飾ドメイン名およびポート番号を指定します。

ホストの例 : searchhost.mycompany.com

デフォルト ポート : 15244

20. [SMTP Mail Server Information] ページで、ワークフロー作業の割り当てのための電子メール通知に使用する SMTP サーバーの名前、および管理者の電子メール アドレスを指定します。

例 : mail.mycorp.com, portaladmin@mycorp.com

21. ポータル サーバーが Publisher に接続する際に使用する認証 ID およびパスワードを指定します。

デフォルトの認証 ID: authenticationid

注意: この ID とパスワードは、Publisher を設定する際に必要になります。

22. デフォルト言語を選択して [次へ] をクリックします。
23. [Pre-Installation Summary] ページで [Install] をクリックするとインストールが始まります。
24. 必要に応じて、Image Service ホストでインストーラを再実行します。

手順 3: マシンの再起動

再起動を指示するメッセージが表示されたらマシンを再起動します。再起動しないと PATH 環境変数の変更が反映されず、アプリケーションの導入や起動の際にエラーが発生する場合があります。

注意: UNIX および Linux マシンでは再起動は不要です。

手順 4: スキーマ ユーザーおよびスキーマ テーブルの作成

Portal 6.0 データベース用に Oracle のスキーマ ユーザーまたは SQL Server のデータベースとユーザーを作成したように、Publisher およびワークフロー サービス用にユーザーやデータベースを作成する必要があります。実際のスキーマ ユーザー名およびパスワードは任意に指定できますが、「手順 2: Publisher インストーラの実行」で入力した情報と一致させる必要があります。以下に示す手順では、ユーザー名として「ptcsdb」および「wfdb」、パスワードとして「plumtree」を使用します。データベースおよびユーザーの作成方法の詳細については、『Plumtree Publisher インストールおよびアップグレード ガイド』を参照してください。

MS SQL Server

1. Enterprise Manager を使用して Publisher データベースを作成し、SQL Server 認証に対応するユーザーおよびパスワードを作成します。データベースのユーザー名は「dbowner」にします。作成したデータベースを、このユーザーのデフォルトデータベースにします。
2. Enterprise Manager を使用してワークフロー サービス データベースを作成し、SQL Server 認証に対応するユーザーおよびパスワードを作成します。データベースのユーザー名は「dbowner」にします。作成したデータベースを、このユーザーのデフォルトデータベースにします。
3. 次の手順でワークフロー スキーマを作成します。
 - a. Query Analyzer を開き、前の手順で作成したユーザーとしてワークフロー データベースに接続します。
 - b. ptworkflow\6.2\sql\mssql\create_schema.sql スクリプトを実行します。

Oracle

1. Oracle Enterprise Manager を使用して Publisher データベースを作成し、対応するユーザーおよびパスワードを作成します。
2. Oracle Enterprise Manager を使用してワークフロー サービス データベースを作成し、対応するユーザーおよびパスワードを作成します。
3. Publisher データベースのホスト コンピュータで、Oracle Enterprise Manager Console を開きます。

4. SQL*Plus Worksheet ユーティリティを開きます。
5. ワークフロー サービスのデータベース ユーザーとしてワークフロー データベースのインスタンスにログインします。
6. `ptworkflow\6.2\sql\oracle9.2\create_schema.sql` または `ptworkflow\6.2\sql\oracle10\create_schema.sql` スクリプトを実行します。

注意 : Publisher のテーブルは、Publisher を初めて起動したときに作成されます。特別な SQL スクリプトは必要ありません。

手順 5 : publisher.pte 移行パッケージのインポート

publisher.pte ファイルをインポートすると、ウェブ サービス、コンテンツ ソース、ビルトイン ポートレットなど、Publisher で使用するポータル オブジェクトが作成されます。

publisher.pte ファイルを移行するには、次の手順に従います。

1. 管理者ポータルにログインします。
2. [ユーティリティの選択] ドロップダウン メニューから [移行 - インポート] を選択します。
3. [参照] をクリックし、`<install root>\ptcs\6.2\serverpackages\` にある **publisher.pte** を探します。
4. [開く] をクリックします。
5. [Load Package] をクリックします。
6. [Overwrite Remote Servers] の横にあるチェック ボックスをオンにします。
7. [終了] をクリックします。

手順 6 : Publisher の起動

Publisher を起動する前に、Search Service およびドキュメント リポジトリ サービスが実行中であることを確認してください。

Windows の場合 :

サービス コントロール マネージャから、NT サービスである Plumtree Publisher サービスまたはワークフロー サービスを起動します。

または、コマンドラインから次のコマンドを実行します。

```
$ <PT_HOME>\ptcs\6.2\bin\service.bat start
```

Linux および UNIX の場合 :

コマンドラインから次のコマンドを実行します。

```
$ <PT_HOME>/ptcs/6.2/bin/service.sh start
```

ブラウザで、Publisher の診断ページにアクセスします。

`http://<host>:<port>/ptcs/console/index.jsp`

例えば次のように指定します。

<http://dev01.plumtree.com:7087/ptcs/console/index.jsp>

その際、「**手順 2: Publisher インストーラの実行**」の手順 19 で作成した認証 ID とパスワードを使用してください。エラーが発生しなければ、設定に問題はなく、検索やドキュメントリポジトリなどのサポート サービスもすべて正常に動作しているということになります。

また、ワークフロー サービスの診断ページにもアクセスできます。

`http://<host>:<port>/wfconsole`

例えば次のように指定します。

<http://dev01.plumtree.com:7087/wfconsole>

デバッグやトラブルシューティングを行う際は、Publisher またはワークフロー サービスをバックグラウンドではなくコンソール プログラムとして実行します。これにより、起動メッセージ (および、エラーがある場合はエラー メッセージ) がコンソールに直接表示されます。

Windows:

コマンドラインから次のコマンドを実行します。

`$ <PT_HOME>\ptcs\6.2\bin\service.bat console`

Linux および UNIX の場合:

コマンドラインから次のコマンドを実行します。

`$ <PT_HOME>/ptcs/6.2/bin/service.sh console`

Windows、Linux および UNIX のいずれの場合も、コンソール画面で [Ctrl] + [C] を押すと、コンソール モードを終了できます。

Publisher またはワークフロー サービスを停止するには、次の手順に従います。

Windows の場合: サービス コントロール マネージャから Plumtree Publisher またはワークフロー サービスを停止します。

または、コマンドラインから次のコマンドを実行します。

`$ <PT_HOME>\ptcs\6.2\bin\service.bat stop`

Linux および UNIX の場合: コマンドラインから次のコマンドを実行します。

`$ <PT_HOME>/ptcs/6.2/bin/service.sh stop`

手順 7: Published_Content_Portlets 移行パッケージのインポート

重要: このパッケージをインポートする際は、Publisher を実行しておく必要があります。

Published_Content_Portlets 移行パッケージには、ニュース、コミュニティ ディレクトリ、お知らせ、ヘッダ、フッタ、コンテンツ キャンパスなどのデフォルト ポートレット テンプレートが含まれています。

Published_Content_Portlets 移行パッケージをインポートするには、次の手順に従います。

1. 管理者ポータルにログインします。
2. [ユーティリティの選択] ドロップダウン メニューから [移行 - インポート] を選択します。
3. [参照] をクリックし、`<install root>\ptcs\6.2\serverpackages\`にある `published_content_portlets.pte` を探します。[開く] をクリックします。
4. [Load Package] をクリックします。
5. [終了] をクリックします。

